



(40)

東京豊多摩郡淀橋町  
角長七三六  
福田英子様



今曲の大破堤は是般社考案

の請文に記して理なきを  
谷中、撫鍋

此後おのつて事なるとの事ら

ト荷

今曲の川おれり身ては新たに

同題に起る事

清水地の必申清減之得也

此場有是地之多り故

此部致種様之是也

此視也亦此部の上より

七  
正造

福月様

僅か十口のお京一し 毎年中

いらいそんこーしーたーたーたーたー

○谷中の堤防中 下宮の堤防

古河所よ 益野両町に 通き

縣道に 北風多し

破し又り村 坊方千余石を 亦

多しヤブシて 堤防大破

比 換算十万余石に 至らん

一文者三ノ百換て

石川三四郎様 赤快氣の上

一町安否 以上更に 赤快切

七月三十日 福田 幸子 様

白紙

葛城山所より  
お七月三日  
十時

51  
620  
702